

平成24年度 免許状更新講習 実施講座（必修1講座、選択11講座）

講座記号	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間
A	教育の最新事情	幼稚園教諭及び小中学校教諭を主たる対象とし、「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の項目に関して基本的な知識の確認を行うとともに、今日さまざまな語られる教育の問題や課題について理解を深めてもらい、教員として問題や課題にどのように対応すべきかについて講義を行う。	原 聰介(本学名誉教授) 氏森 英亞(本学名誉教授) 羽田 紘一(子ども教育学科教授) 日暮 トモ子(子ども教育学科准教授)	12時間	平成24年8月6日～ 平成24年8月7日	全教員	全教員	12,000円	50人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日

講座記号	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間
B	障害児のコミュニケーション行動支援	特別支援教育の対象となる児童に対する言語的・非言語的コミュニケーション行動支援の方法について講義する。また、通常学級・特別支援学級における発達障害児、LD児、聴覚障害児の事例を取り上げ、教員だけでなく他の児童とうまくかかわるための集団・個別支援の在り方について考察する。	氏森 英亞(本学名誉教授) 杵野 広美(子ども教育学科准教授)	6時間	平成24年8月8日	教諭 養護教諭	幼稚園、小・中学校教諭、養護教諭、特別支援学校教諭	6,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
C	ダンスの楽しさ、身体表現の心地よさを知る	1). 身体の各部を使って思いきり動いたり、様々なリズムに乗って動いたり、異なった質で表現的に動いたり、踊ることそれ自体の楽しさ、心地よさを知る。 2). 作品になる題材を見つけ出し、よく観察し、題材のどこをどのような角度で捉えるか身体の運動でスケッチしてみる。 3). 時間・空間・力性の要素に変化をつけ、作品にまとめ上げるまでを体験する。	辻元 早苗(芸術教養学科教授)	6時間	平成24年8月8日	教諭	小学校、中学校、高等学校の教諭(保健体育)	6,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
D	子どもにとって楽しい体育の授業とは	運動をする子としない子の二極化が言われるようになって久しい時間が経過した。しかし、その差はなかなか埋まっていない現実がある。生涯体育を見据え体育好きな子どもたちを育てるために体育の授業はどうあればよいのか。子どもが喜ぶ体育の授業をどのように考え作っていくのか考えていきたい。	藤井 喜一(子ども教育学科教授)	6時間	平成24年8月9日	教諭	幼稚園・小学校教諭	6,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
E	図画工作の基礎的な指導	表現材料である紙の扱いを通し、造形の基礎的発想法、指導法を再考する。身近で廉価ゆえに見落としがちな紙の特性を捉え直し、概念的・固定的な題材のイメージを開放して個々の発想を広げ、新しい可能性に満ちた題材の可能性を探る。授業は実技研修形式で行う。	小嶋 成夫(子ども教育学科准教授)	6時間	平成24年8月9日	教諭	幼稚園・小学校・中学校教諭	6,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
F	子育て支援の実際と課題	「子育て支援事業の現状の理解」「子育て支援の取り組みへの提案」「育児不安や育児ストレスの実態とコーピングの仕方」「子育てに携わっている親のニーズへの対応」「親の子育てに関する援助の求め方と傾向」の5つの事項を主題とし、教育の現場に求められる子育て支援のあり方、支援の方法の理解、親子のよりよいコミュニケーションとは何か等について考え、知識・技能を高める事を目指す。	諸井 泰子(子ども教育学科教授) 杉本 信(子ども教育学科准教授)	6時間	平成24年8月9日	教諭	幼稚園、小学校の教諭	6,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
G	指揮法について	合奏、吹奏楽などを指揮する際に必須の技術である「指揮法」について、ヨーロッパ音楽の本質を踏まえながら、米国の合理的な楽曲分析を基盤にした方法で実践的、分析的に解説する。すなわち、合唱、器楽合奏を問わず指揮をする上での必須要諦であるPERIODEN(楽曲内容的確に把握し音楽的な構成のもとに区切ることのできる楽節)の見つけ方から学ぶ。	森本 恭正(芸術教養学科教授)	6時間	平成24年8月9日～ 平成24年8月10日	教諭	小学校、中学校、高等学校の教諭(音楽)	6,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
H	子どもの表現活動をどう展開するか	2部構成で、表現活動の展開と教諭の関わり方をテーマに、楽しく体験的な学びの機会を提供します。第1部では、劇遊びや劇的な表現に焦点を当て実践映像の視聴も交えて展開します。第2部では、音楽表現に焦点をあてていきます。リズムの教育法をベースに、それを活用しながらどのような音楽表現活動が展開できるかについて、また即興的なピアノ表現についての講習も含めて展開します。	陸路 和佳(子ども教育学科准教授) 山本 直樹(子ども教育学科講師)	6時間	平成24年8月10日	教諭	幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教諭	6,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
I	保育における視聴覚教材と乳幼児のこぼの発達	保育における視聴覚教材(絵本・紙芝居など)の、主に乳幼児のこぼの発達における意義、視聴覚教材をいかした保育の実践方法を内容とする。具体的には、紙芝居の歴史や特性、絵本の選書や環境の観点、幼児の反応、また小学校における読み聞かせについて、実践紹介を含めて講義する。	三澤 裕見子(子ども教育学科教授) 並木 真理子(子ども教育学科准教授) 富岡 麻由子(子ども教育学科講師)	6時間	平成24年8月10日	教諭	幼稚園、小学校、中高(職場体験担当)の教諭	6,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
J	現代演劇・歌舞伎のトレーニング方法を教育に生かす	コミュニケーション教育、創造力の育成などをにあって、演劇を教育に導入した授業のあり方が提案されている。この講座ではワークショップ形式で、ドラマ教育、イギリスにおける現代演技の基礎(『身体』『ムーブメント』『空間』に関わるヨーロッパ演劇のエクササイズ)、日本における歌舞伎などの基礎技術(歌舞伎における身体訓練法歌舞伎の演技の表現法)をそれぞれの専門家が指導し、ドラマとシアター教育の魅力に迫る。	花柳 甄一(芸術教養学科教授) Jason.Arcari(芸術教養学科准教授)	12時間	平成24年8月20日～ 平成24年8月21日	教諭	幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教諭	12,000円	30人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
K	歌舞伎の音楽～黒御簾の楽器と演奏法～	1時間目: 歌舞伎音楽と舞台の概説(視聴覚教材使用) 2～3時間目: 黒御簾楽器の種類と奏法解説(様々な楽器を用意し演奏を体験する。楽器例: 楽太鼓、木頭、ツケ板とツケ木、双盤、松虫、オルゴール、ガリ時計、擬音笛など) 4～5時間目: 演奏体験(前の時間に覚えた奏法で、情景描写、心理描写をしてみる) 6時間目: グループごとの発表(歌舞伎にまつわる場面を創案し、楽器を組み合わせる歌舞伎らしい表現を試みる)	茂手木 潔子(芸術教養学科教授)	6時間	平成24年8月21日	教諭	中学校、高等学校の教諭(音楽・国語・演劇)	6,500円 (テキスト代含む)	20人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日
L	実践 三味線音楽	三味線初心者および経験者を含めた実技中心の講習である。楽器及び付属品は貸与する。 1. 三味線音楽の種類、特徴、三味線および付属品の素材や構造についての知識を確認する。 2. 演奏のための基本的な構え、初歩的な奏法パターンを学ぶ。 3. 三味線(文化譜)の読譜と小品の演奏体験。 4. 三味線と声のパートの関わり方を学ぶ(視聴覚資料も使用)。 5. 三味線を使った創作のためのポイントと実践。 6. グループ毎の創作と発表。	前原 恵美(芸術教養学科准教授)	6時間	平成24年8月22日	教諭	中学校、高等学校の教諭(音楽)	6,000円	20人	平成24年5月16日～ 平成24年7月6日